

2024

花巻堂

第115号

館報 たふの木

(令和6年10月1日現在)

人 口	654	人
男子	319	人
女子	335	人
世帯数	249	戸



感震ブレーカーの実演

(防災の記事は6ページにもあります。)

防災訓練主任 本田 昌之

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、能美市でも最大震度5強を観測しました。

津波警報が発表され、西二口町公民館にも100名程の方が避難をし、10名程の方が公民館で一夜を過ごされました。

そのような中、町内会では、防災対策の強化が喫緊の課題となりました。地震の教訓を踏まえ、自衛消防団、西二口防災士の会、町内会役員会で、自主防災組織の見直しと役割の検討、備蓄品の検討、初動マニュアルの作成などに取り組みました。

また、防災訓練の実施内容についても見直し、自分の身を守る行動や家族の安否確認、隣近所の安否確認などを町民の皆様にお願いくることいたしました。当日は、123名の参加のもと、計画どおり各班による参集避難訓練を実施することができました。

加えて、能美市危機管理課、消防本部根上分署の職員の方による出前講座を実施し、川の氾濫や地震など災害の種類によって避難行動先が異なることや、感震ブレーカーについて学ぶことができました。

ご協力頂いた皆様には感謝するとともに、防災訓練を通じて、安心して住める西二口町に寄与できればと思っております。

町内会行事報告



・よりよい環境づくりの日

七月一日(月)に老人会の幹部が加賀舞子に隣接する海岸地域清掃を実施しました。
七月七日(日)には各団体が出動しました。
参加された皆様、早朝からご苦勞様でした。



・七夕祭り

七月二十七日(土)に開催しました。当町からは「西二口のゆかいなななまたち」が参加しました。

・町内崇拝の碑の法要

七月二十八日(日)に実施。震災で倒れた町内崇拝の碑も復元がなされました。

・夏祭り

八月二十四日(土)午後三時から西二口町の夏祭りが行われました。
アトラクションとして、ブルーインアートの

行われ、その後、根上中学校のプラスバンド部の生徒が到着し、すてきな演奏をしてくれました。
最後はビンゴゲームでお開きになりました。お世話頂いた壮年団、婦人会の皆様、ご苦勞様でした。



・秋祭り

九月十四日

(土)神主さんが来られ、作物の収穫への感謝と厄年の人への厄払いが行われました。

町内の各家を回り厄払いを行う子ども獅子や巫女舞



は子供たちの都合により九月十六日(月)に行われました。

・防災訓練

九月八日(日)に震度六の地震があったと想定して防災訓練を行いました。

公民館に集合した後、公民館の中に移動しプロジェクターを使って震災以外にも線状降水帯による河川の水害対策、能登の輪島で発生した電気やガスによって起こった火災への対策、震災の揺れによる感震ブレイカーの解説などが行われました。



・生活排水路の一斉清掃

本年の生活排水の一斉清掃は十月六日(日)に行われました。



西二口春日神社の秋祭りを終えて

西二口春日神社氏子総代 本村 彰則

九月十四日(土)九時から巫女が舞う中、須天熊野神社宮司のお祓いに続き、厄年の一九(四名)、五五(二名)、三三(二名)、喜寿(三名)のお祓いを受けました。皆様には健康で清々しくお過ごし下さい。



喜寿の皆様には、これからもご健勝で益々のご活躍をお祈りします。

十六日(月)は、獅子舞、巫女舞が各家庭を回り祭りを盛り上げてくれました。暑い中予定どおり終えることができ、PTA、小学生、中学生の皆様有りがとうございました。

氏子の皆様には、暑い中、参拝、奉納(実年会の皆様には神社当番等のご協力)有りがとうございました。

令和六年度の厄年の皆さん

- 一九 本村 瞳 中村 美桜
- 西 菜々美 山本 愛美
- 五五 高田 洸 磯野 凌汰
- 三三 竹本 千紘 若村 萌恵
- 喜寿 中村和喜夫 村井 良章
- 増田 健一



厄払い「喜寿」



厄払い「19, 55, 33」

秋祭り 子供獅子

壮年団团长 土田 工

本年度、PTAの獅子舞係を担当することとなり、8月頃より準備を始めました。

コロナ禍で数年間未開催で昨年再開された為、私自身子供達が舞う姿をほとんど見たことがなく、前年度担当の方が作成された資料を参考にしながら手探りの活動となりました。

日程調整、保護者への連絡書配布等の準備を経て9月9日より子供達の練習を開始。中学3年生が中心となり下級生へ獅子の動きや太鼓のたたき方、笛の吹き方などを指導しました。最初は「難しい、出来ない」と言っていた中2の児童達でしたが、練習最終日には何とか獅子頭を扱える様になっていました。

迎えた本番当日、30℃を超える夏日予報の中、神社より獅子舞を開始。中学3年生は安定の舞い、心配していた中学2年生も何とか形になっており一安心。中1や小学生の児童達も獅子の後ろに入ったりして頑張っていました。お昼近くになると暑さと疲れでグツタリ気味でしたが、何とか無事回りきることが出来ました。

今年の中3の模試で人数が集まらず、日程を変更することで何とか必要人数を確保出来ましたが、来年少降、児童数かなり減るので、獅子の中に入る人数を減らしたり、回る軒数を減らしたりといった施策を考えないと開催自体難しいのではと感じました。

最後に、ご協力頂いた保護者の皆様のおかげで何とか無事役目を果たすことが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

巫女舞に参加して

大杉 麻菜美

令和6年度の巫女舞に携わり、私が感じた事は、年々厳しくなる気温に関する心配と、子供達が、短い練習期間で私が思っていたよりずっと上手に踊れるようになってくれた事です。

今年は、5年生の合宿も重なり、練習も少し短く、疲れも出ないかと色々心配していたのですが、土曜日・月曜日と暑い中とてもがんばってくれました。

月曜日、一緒に歩き、協力してくださった皆様には本当に感謝でいっぱいです。

また、朝早くから受け入れてくださった町の皆様、神社役員の皆様、ご理解ご協力ありがとうございました。



獅子舞



巫女舞

踊りの夕べ

踊りの夕べに参加して

新出 晴大

今年、僕が踊りの夕べに参加したいと思った理由はいくつかあります。まず1つ目は、最高学年である6年生が参加しないと5年生以下の子だけになるので、6年生の僕が参加して祭りを盛り上げたいと思ったことです。もう1つの理由は、最初で最後の小学校6年生の夏に悔いは残したくないと思ったことです。最後、もう1つの理由は、今年の踊りの夕べには能登半島地震の復興の願いを込めたからです。実際に踊りの夕べに参加してみた感想は、みんな楽しく息を合わせて踊ることがとても楽しかったです。女子は織姫をイメージした衣装を着ていてかわいかったし、男子は彦星をイメージした衣装を着てすぐかっこよかったですと思います。そして今回はうちわを持って踊りましたが、そのうちわには「がんばろう能登」と書いて能登復興の願いを込めました。僕のお父さんの実家は珠洲市にあります。が、1月1日の能登半島地震でその実家が全壊してしまいました。地震が起きてしまわなくて、珠洲市に行ったら様子を見てきました。たくさんの方が壊れていて、道路はボコボコになってマンホールが飛び出ている場所もたくさんありました。僕はその風景を見てショックを受けたけど、そのような場所でも自衛隊、警察、消防の方々が頑張っていたので、僕も少しでも復興に協力したいと思いました。今回の踊りの夕べでは、そんな気持ちを込めて踊ったので、踊りを見てくれた能美市の人にも同じ気持ち伝わっているとうれしいです。



夏休みラジオ体操

夏休みラジオ体操について

六年 中川 琥利生

ラジオ体操は、学校がある日より早起きをして、とダメなので大変でした。

最上級生として前に立ってお手本をしたり、ハンコの係もしました。

みんな初めは、ねむそうだけど、終わってみれば体も温まって、気持ちもスッキリして目が覚めます。

町の広場でみんなと一緒に体操をすることで、地域の人達と交流できたり、人とのコミュニケーションの場にもなっていて、楽しい時間を過ごせました。

朝早くからたくさん地域の人も参加してくださり、ありがとうございました。

これからも、「おはようございます」のあいさつから始まる一日を大切にしたいです。



遊イソグ祭

今年は連日の猛暑を避けるために開催日を遅らせて8月24日(土)に夏祭り(遊イソグ祭)が実施されました。

壮年団副団長 鯉野 貴成

壮年団副団長の鯉野です。

今回、初めて参加した「遊イソグ祭」でしたが、思った以上に賑わいを感じました。ここ数年で新築の家も増えたからなのか、若い方の参加者も多かったのではないのでしょうか？ 私もお小さな子供が3人おりますが、皆同級生も多く、とても楽しかったです。

コロナ禍を乗り越え、老若男女、様々な方々が一堂に集まり、一段と活気ある姿に進化を遂げた様にも感じます。年始の大地震や異常気象、まだまだ衰えぬ感染症と心やすまらぬ日々の中、とても心温まるひとときを過ごすことが出来ました。

お祭りを企画・準備・開催して下さった関係者の皆さま、暑い中足を運んで下さった皆さま、楽しい時間をありがとうございました。





夏祭りについて

婦人会会長 土田 陽子

今年も、遊イソグ祭が無事に開催されました。暑さ対策として、一五時スタートとしたため、参加者数がわからず、食べ物や量について悩みました。実際、沢山の皆さんに来ていただき、座る場所も無いほどで、びっくりしました。今年は、根上中吹奏楽部に来ていただき、素晴らしい演奏を聴かせてもらいました。ピンゴも大変盛り上がりました。

遊イソグ祭は公民館で飲食というイメージが定着していますが、町民の交流を深めることが目的ですので、今後、別のイベントを試してみるのも面白いと思います。

公民館長始め、準備から当日まで、尽力いただきました各団体の皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。

西二口町防災訓練を実施して

自衛消防団団長 本村 成希

近年、各地で地震や大雨による災害が発生しており、石川県においても、令和6年元旦の能登半島地震、9月21日の豪雨による能登地方での水害と立て続けに災害が起きています。



そのような中、西二口町では、町民一人一人が安全を確保できるように、継続的に防災訓練を実施しております。

本年度は、森本、富樫断層帯による巨大地震が起きたという想定での避難訓練を実施してもらいました。

出前講座では、能美市の危機管理課職員による災害時における住民と地域のとるべき行動について、能美消防根上分署員による感震ブレイカーについての講座をしていただきました。

今後も安全、安心して住める町になるように西二口町自衛消防団も活動していきたいと思っています。

各種団体の活動

白寿会

白寿会副会長 南 俊博

八月八日出前講座で警察署から講師を派遣して頂き、特殊詐欺の特徴と被害防止、交通事故情勢について、高齢者に対する事故防止について講演して頂きました。

九月十九日の出前講座で能美市立病院医療技術部リハビリテーション科主任反町央氏を派遣して頂き、「肩こり・腰痛予防」について講演して頂きました。痛くても動かすことが重要という言葉が印象的でした。

生涯スポーツ活動推進事業の一環として考案されたグラウンドゴルフの当町クラブは山口釜屋町の緑が丘のコースで練習をしております。現会員は十二名です。

今年は酷暑で夏には活動を停止してしまいましたが、十月から再活動を始めました。グラウンドゴルフは高度な技術を必要とせず、しかも全力を出す場面と、集中力や調整力を発揮する場面がうまく組み合わされており、ルールもごく簡単なことから、初心者でもすぐに取り組めると言われています。

予てから抽選を申し込んでいた「地域県政学習バス」が当選し、見学・体験を「十月十一日に尾小屋鉱山資料館・坑道体験↓せせらぎの里↓木場東園地」を実施しました。

「地域県政学習バス」とは県及び市町等の施設見学や体験を通して、県政に対する理解を深めてもらうことを目的として運行するバスのことです。

実年会

実年会会長 中川 守



実年会の主な行事としては、春祭り・秋祭り前の西二口町春神社の境内清掃と祭り当日の神社受付当番です。元旦祭に向けて、年末にも神社の境内清掃を行います。

この他6月には健康講座と懇親会を行います。毎年ヨガの講師を招き、今回は軽体操を体験しました。自分を含め多数の参加者は、普段体を動かしていないためか、いろいろな体操をやるたびに体が悲鳴をあげていました。11月には実年会の親睦会を開催します。又、昨年度より町内会行事であるスポーツフェスティバルinねあがりと夏の遊イソグ祭の準備と手伝いの参加も行っていきます。以上が実年会の活動内容となります。

壮年団

壮年団団長 森本 和昭

令和六年度の壮年団の活動は、三月の用水路清掃から始まり、五月にスポーツフェスティバル、七月に海岸清掃、八月に遊イソグ祭と、西二口町・根上校下の皆様とかわりあうことが多くありました。(ソフトボールは雨天中止でした。)また、今回は能登半島地震の復興を願い、七夕まつりで使われたホテルつくりにも本団からの依頼にて参加してきました。

わいわい・ガヤガヤ楽しく行事に参加して地域の輪を広げて普段から交流を大切に、大災害の時は助け合いの輪が広がるような地域活動となるように団員とも協力したいと感じました。

婦人会

婦人会副会長 池田 由美

「ヨガ講習会」

6月22日の土曜日、婦人会の「ヨガ講習会」に参加しました。講師の河津先生は優しく丁寧に教えて下さいました。個人的にヨガには興味があったけど、体験する機会がなかったのでも良い経験になりました。見た



事があるポーズも、実際自分がしてみると思った以上に負荷のかかるものもあり、ヨガの穏やかなイメージと違って驚きました。後半は、照明を落としたりラックスした中でゆったり行いました。短い時間でしたが、先生の落ちついた声と話し方の中で行うヨガで忙しい日常を一時でも忘れる事ができました。

全国大会へ出場おめでとう

当町内会規約に従って小松大谷高校野球部森本大介君に当町から激励金が贈呈されました。

甲子園を体験して

森本 大介

今年の夏、甲子園に出ることができました。二年生までは甲子園に出ることができず、悔しい思いをしましたが、最後に甲子園に出ることができてとてもうれしかったです。また甲子園で勝つこともできて、とても良い経験をする事ができました。高校の三年間は、辛いことや苦しいことの方が多くありましたが、とても成長できた時間でした。これから別の目標を持って、その目標を達成できるように頑張っていきたいです。

♡♡♡♡♡ ご結婚おめでとう。

この度、6月に入籍いたしました。妻とは4年の交際を経て入籍いたしました。また、11月には第一子が生まれます。これからは、2人で力を合わせて穏やかな家庭を築いていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



★1班の1 竹田翔太家



★2班 山林 克也

8月に引っ越してきた山林です。娘2人と夫婦の4人で暮らしています。転居してきたばかりで、不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願ひします。

転入のどあいさつ

町内の皆様、初めまして!!

町民文芸

俳句

閑院を知らず張り紙秋の風
山旅を編む友よりの秋新書
こぼれ咲く萩のうねりのたおやかに
群れ咲きて燃ゆる焰の曼珠沙華
月今宵肩を並べる夫がいて

木村芙蓉子

池田実枝子

夕月夜パンパスグラス輝けり
母と子の並びて見上ぐ小望月
空の青塞ぐかのごと觸雲
羅漢模の裾を彩る彼岸花
稽田へ三三五五と鷲降り来



★2班 若村 伊生

西二〇町に引越してきてまだ日が浅く、分からないことも多々あり、周囲の皆様方にはご迷惑をお掛けすることもあるかと思ひます。色々不慣れではありますが、家族一同どうぞ宜しくお願いいたします。

令和6年8月に引越して参りました若村と申します。妻と7ヶ月の娘の3人家族です。娘を授かったのを機に、実家のある福岡町の近くで家を建てようと考えていたところ、西二〇町にご縁があり、今年8月に家が完成しました。

編集後記

今年の防災訓練は、能登の二重被災を目的に当たり直後にありました。被害を減らすためには、日頃からの近所、地域の繋がりが大切であるとの事でした。

村田 美乃

この「たぶの木」も町民皆様に繋げる役割を持っています。毎年交代で壮年団・婦人会・小中PTAの各代表の方々にも編集委員になっていただいておりますので、掲載内容についてのご意見・ご要望等がありましたら、遠慮なく近くの編集委員に御連絡下さい。宜しくお願い致します。



おくやみ

謹んでご冥福をお祈り致します

南 羊子 様

令和六年八月二十五日

享年九十二歳

